

大学・地域共創プラットフォーム香川の設立について

(新たな産学官連携の枠組み)

- 産学官のそれぞれの主体が個別に連携し、地域の状況について危機感を持って取り組んできたが、人口減少の加速化が進み、社会経済情勢の変化や人々の価値観の変化が速い中で、より実行、実践を志向した取組みが求められる。
 - 地域が直面する課題は、複数の分野に跨がり複数の事象が相互に関連しており、一つの分野、一つの立場からの取組みだけでは実効性が乏しい。
 - 地域経済を牽引する産業界、地域の人材育成の基盤である大学(高等教育機関)、地域住民の生活を支える地方自治体が、課題認識を共有し知恵を出し合う、県全体での産学官による連携の枠組みが必要。
- ⇒ 地域社会の未来に向け、若者が集う地域の「知」の拠点である大学(高等教育機関)の知見を基点に、産学官の多様な主体の力を総動員し、議論と実践による共創のプラットフォームを構築する。

[大学・地域共創プラットフォーム香川の構成]

